

■新しい文化施設に係る基礎調査(概要版) ※速報として回答の一部を抜粋、数値等は今後変動する可能性あり。

① 市内施設の利用状況調査			
調査対象	市のホール施設 (中心部のみ抜粋) ・松山市民会館 ・松山市総合コミュニティセンター 【利用実績データより集計】	利用人数の傾向 1件あたり	どの程度の利用規模が多いか？ 【市民会館】 ➢大ホール (1,825 席) : 1,500 人以上 ➢中ホール (583 席) : 101～300 人程度 ➢小ホール (200 席) : 11～100 人程度 【コミュニティセンター】 ➢キャメリアホール (988 席) : 501～1,000 人程度
		利用傾向	【市民会館】 ➢大ホール： 利用内容は「オーケストラ・室内楽・吹奏楽」(25%) が最多で、次いで「ポップス」(19%) が多い。利用者は「興行主」(36%) が最多で、次いで「学校・教育機関」(26%)、「文化団体」(22%) の順に多い。 ➢中ホール： 「オーケストラ・室内楽・吹奏楽」(27%) が最多。利用者は「文化団体」(28%) が最多で、次いで「個人」(18%)、「その他企業・団体」(16%) が多い。 ➢小ホール： 利用内容は「伝統芸能」(46%)、「集会・講演会等」(25%) が多い。利用者は「文化団体」(39%) が最多。 【コミュニティセンター】 ➢キャメリアホール： 利用内容は「集会・講演会等」(39%) が最多で、次いで「オーケストラ・室内楽・吹奏楽」(18%) が多い。利用者は「その他企業・団体」(25%) が最多。
② 市民アンケート調査			
調査対象	無作為抽出 2,000 名 ・・・回答数：792 名 【回収率 39.6%】 【回答方法 郵送・WEB】	機能	➢ 公演鑑賞でよく訪れる市内施設は、「松山市民会館」(41%) が最多、次いで「県民文化会館」(25%) 等 ➢ 直近 1 年間の市民会館の利用は「利用しなかった」が (72%) を占めるが「利用した」との回答も (28%) あり ➢ 利用した理由は「公演の鑑賞」(47%) が最多で市民会館は「鑑賞の場」として定着している ➢ 市民会館の良いところとしては、「観たい演目や参加したい事業がある」(23%) が最多、次いで「電車、バス等で行きやすい」(19%)、「音響が良い」(15%)、「舞台が見やすい」(13%) 等 ➢ 新施設での公演鑑賞の機会や環境の充実のために必要なことは「コンサート利用ができるホワイエやロビー」(20%) が最多、次いで「カフェや飲食スペース」(19%)、「小規模な発表会にも対応可能な多目的スペース」(14%)
		その他	➢ 鑑賞したことのあるジャンルは、「軽音楽」(28%) が最多、次いで「演劇」(21%)、「オーケストラ・室内楽・吹奏楽」(20%) ➢ 今後鑑賞したいジャンルは、「軽音楽」(27%) が最多で「演劇」(19%)、「演芸 (落語・お笑い等)」(18%) も多い ➢ 新しい施設で、公演鑑賞の機会などを充実させるために必要なことは、「公演内容の充実」(54%) が最多、次いで「情報提供の充実」(33%) 等

③ 団体アンケート調査			
調査対象	市内文化芸術団体 234 団体 ・・・回答数：158 件 【回収率 67.52%】 【回答方法 郵送・WEB】	規模 ホール	➢ 発表時の集客は「101～300 人」(36%) が最多で「100 人以下」(26%) も多く、小規模公演が中心 ➢ 各ホールタイプにおいて最も多く選択された規模は「101～500 人程度」であり、その割合は音楽利用に特化した場合 (37%)、演劇利用の場合 (43%)、多目的の場合 (35%)、平土間の場合 (69%)、能舞台があるホールの場合 (94%) であった。 ➢ 「801～1,000 人規模」へのニーズも一定数あり音楽利用に特化した場合 (22%)、演劇利用の場合 (19%) を占めた。 ➢ 能楽団体は、能舞台の継承を要望
		機能	➢ 「小規模公演に対応する多目的スペース」(19%) や「防音性を備えたりハーサル室や練習室」(15%)、「コンサート利用可能なホワイエ・ロビー」(13%) など、創造活動を支える機能の整備 ➢ 「カフェや飲食スペース」(12%) など、日常的なにぎわいを生み出す機能の必要性 ➢ 優れた音響性能の維持
		その他	➢ 70%以上が他団体との交流があり、イベント時・日常活動時の双方において活発 ➢ 空白期間に対する支援への要望あり ➢ 松山市の文化継承、次世代の育成を担う施設となることへの期待
④ 団体対話型ヒアリング調査			
調査対象	③の回答者や要望書提出者からジャンルごとに任意に抽出 ・音楽 5 団体 ・演劇 4 団体 ・舞踊 2 団体 ・伝統芸能 4 団体、 ・中間支援 1 団体 (計 16 団) 【対面実施】	規模 ホール	➢ 大ホール：現状同等～2,000 席 ➢ 中ホール：400～800 席程度 ➢ 小ホール：200～300 席程度 ※さらにミニ公演ができる 100 席程度のリハーサル室の要望もあり
		機能	➢ 音楽の場合、大、中、小ホールは音の響きを重視 ➢ 演劇向け小ホールは可変性のあるブラックボックス、セリフが明瞭に届く音響性能が求められる ➢ 能舞台は可動式でもよいが設置が必要、また、客席は良質な椅子による段床型が求められる
		その他	➢ 子どもも訪れやすい開かれた施設・事業 ➢ ホールは 1 階席のみの料金を設定するなど、手軽に使える料金体系にして欲しい ➢ 空白期間に文化芸術活動に伴走し、途絶えさせない中間支援組織の必要性 ➢ フルコンサートグランドピアノが弾ける代替施設
⑤ プロモーターヒアリング調査			
調査対象	・市内で興行を行う企業4社 ・(一社)コンサートプロモーターズ協会 【オンライン実施】		➢ 大ホールは現施設同等～2,000 席 ➢ 個性的より「マイナスのないホール」がベスト ➢ 11 トン 2 台同時搬入でき、夜にトラックを駐車できるように

⑥ 近隣・類似施設アンケート調査		
調査対象	四国内の類似規模施設及び、国内の類似規模都市が保有するホール施設 67 施設 ・・・回答数：47 施設 【回収率 70.14%】 【回答方法 FAX・メール】	➤ 日稼働率（R6）の平均値 ホール①（大ホール）：【類似都市】 65.18% 【中四国】 59.32% ホール②（中ホール）：【類似都市】 67.19% 【中四国】 68.76% ホール③（小ホール）：【類似都市】 68.48% 【中四国】 73.90% ※松山市民会館の稼働率（R7） 大ホール：67.3% 中ホール：42.9% 小ホール：57.1% （なお、大・中ホール同時利用が難しいため、稼働率を上げにくいことから、上記と単純比較はできない点は留意必要）
⑦ 近隣施設ヒアリング調査		
調査対象	市内、周辺市のホール施設 ・愛媛県県民文化会館 ・愛媛県男女共同参画センター ・松山市総合福祉センター ・松前総合文化センター ・砥部町文化会館 ・東温アートヴィレッジセンター ・IYO 夢みらい館 【対面・電話実施】	➤ 近隣施設の利用にあたり以下の留意点がある ・松山市民会館とのキャパシティの差 ・利用料金の増額 ・アクセス性 ・設備・備品不足 ・予約ルールの違い